

# スーパーマーケット販売統計調査資料

2014年5月実績 速報版(パネル285)

4月実績 確報版(パネル285)

(2014年6月20日公表)

## 調査資料概要

### 【パネル285】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象として同一285社を集計

※2014年4月実績よりパネル対象企業変更(306社→285社)

### 【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

### 【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

### 【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

## 【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタペーカーリー、ファーストフード	
	日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム		
	一般食品	調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

## 【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014年4月実績よりエリア区分を8地方区分による6地方に変更

日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ  
tokei@super.or.jp

2014年6月20日

日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査  
 2014年5月実績 速報版 (パネル285)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	80,878,584	100.0%	101.9%	100.0%
食品合計	71,702,349	88.7%	102.9%	101.0%
生鮮3部門合計	27,054,824	33.5%	106.2%	103.9%
青果	10,896,216	13.5%	105.2%	102.9%
水産	7,377,581	9.1%	103.8%	101.5%
畜産	8,781,027	10.9%	109.7%	107.2%
惣菜	7,598,253	9.4%	105.9%	102.9%
日配	15,556,770	19.2%	103.1%	101.4%
一般食品	21,492,501	26.6%	98.0%	96.7%
非食品	6,175,527	7.6%	93.1%	92.5%
その他	3,000,708	3.7%	95.5%	94.5%

## 地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	13,057,004	48	102.1%	100.1%
関東地方	28,692,213	73	104.9%	103.0%
中部地方	9,913,458	57	100.4%	98.7%
近畿地方	17,498,852	43	100.3%	97.8%
中国・四国地方	7,337,505	39	99.3%	100.0%
九州・沖縄地方	4,379,552	25	100.9%	99.8%

## 保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	820,865	52	99.1%	100.8%
4~10店舗	4,035,086	78	103.6%	102.7%
11~25店舗	11,045,281	72	101.1%	100.2%
26~50店舗	15,770,185	45	101.2%	99.8%
51店舗以上	49,207,168	38	102.3%	99.8%
集計企業数 (社)	285	既存店総売上高 (万円)	77,689,558	
総店舗数 (店舗)	7,311	店舗平均月商 (万円)	11,063	
総売場面積 (㎡)	12,010,172	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.7	

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2014年6月20日

日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査  
 2014年4月実績 確報版 (パネル285)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	75,971,400	100.0%	98.6%	96.5%
食品合計	66,857,754	88.0%	99.5%	97.2%
生鮮3部門合計	25,577,304	33.7%	103.3%	100.9%
青果	10,326,702	13.6%	103.1%	100.9%
水産	6,931,652	9.1%	100.9%	98.4%
畜産	8,318,950	11.0%	105.7%	103.1%
惣菜	7,377,747	9.7%	104.6%	101.6%
日配	14,708,357	19.4%	100.0%	97.8%
一般食品	19,194,346	25.3%	92.7%	90.7%
非食品	6,073,934	8.0%	93.3%	92.5%
その他	3,039,712	4.0%	92.3%	91.7%

## 地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	11,931,291	48	96.6%	94.4%
関東地方	26,796,931	73	100.2%	97.6%
中部地方	9,314,595	57	99.1%	97.0%
近畿地方	16,934,397	43	98.2%	96.5%
中国・四国地方	6,906,052	39	97.3%	95.7%
九州・沖縄地方	4,088,135	25	96.5%	95.2%

## 保有店舗数別集計

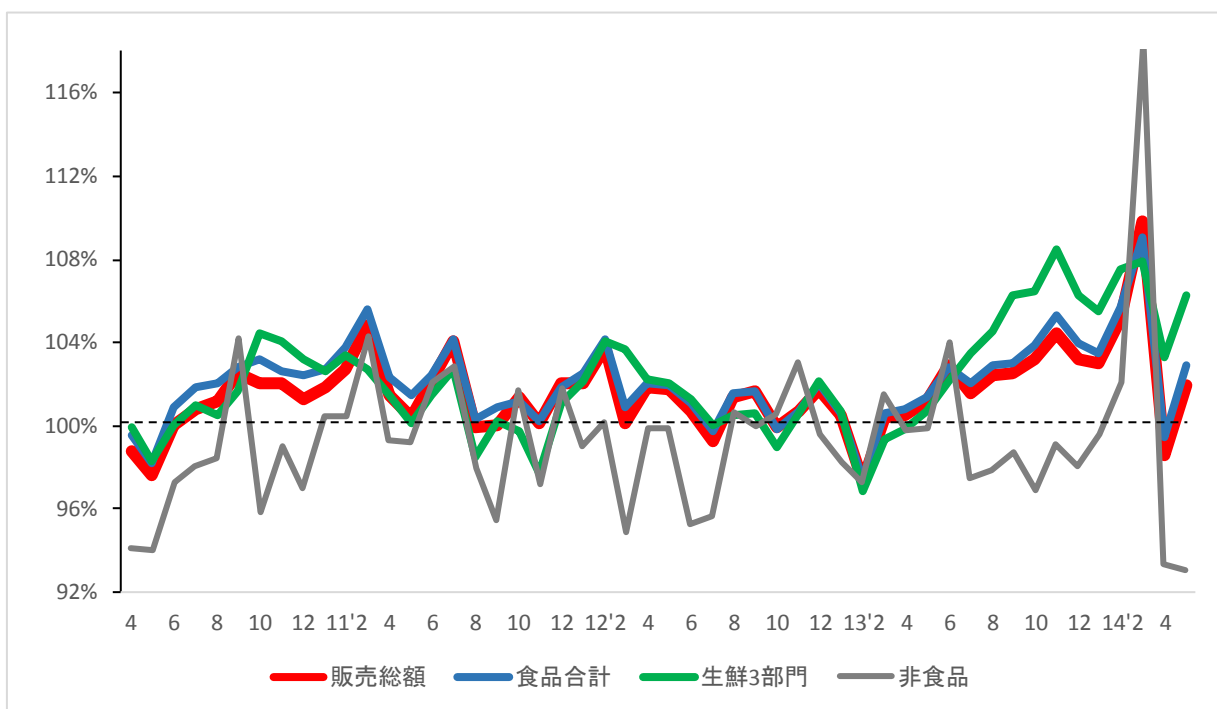
保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	759,727	52	93.0%	94.9%
4~10店舗	3,767,698	78	98.5%	97.6%
11~25店舗	10,337,445	72	97.1%	96.1%
26~50店舗	14,554,420	45	97.1%	95.2%
51店舗以上	46,552,111	38	99.5%	97.0%
集計企業数 (社)	285	既存店総売上高 (万円)	72,933,416	
総店舗数 (店舗)	7,306	店舗平均月商 (万円)	10,398	
総売場面積 (㎡)	12,012,292	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.3	

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2014年5月(全店ベース対前年同月比)

販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品

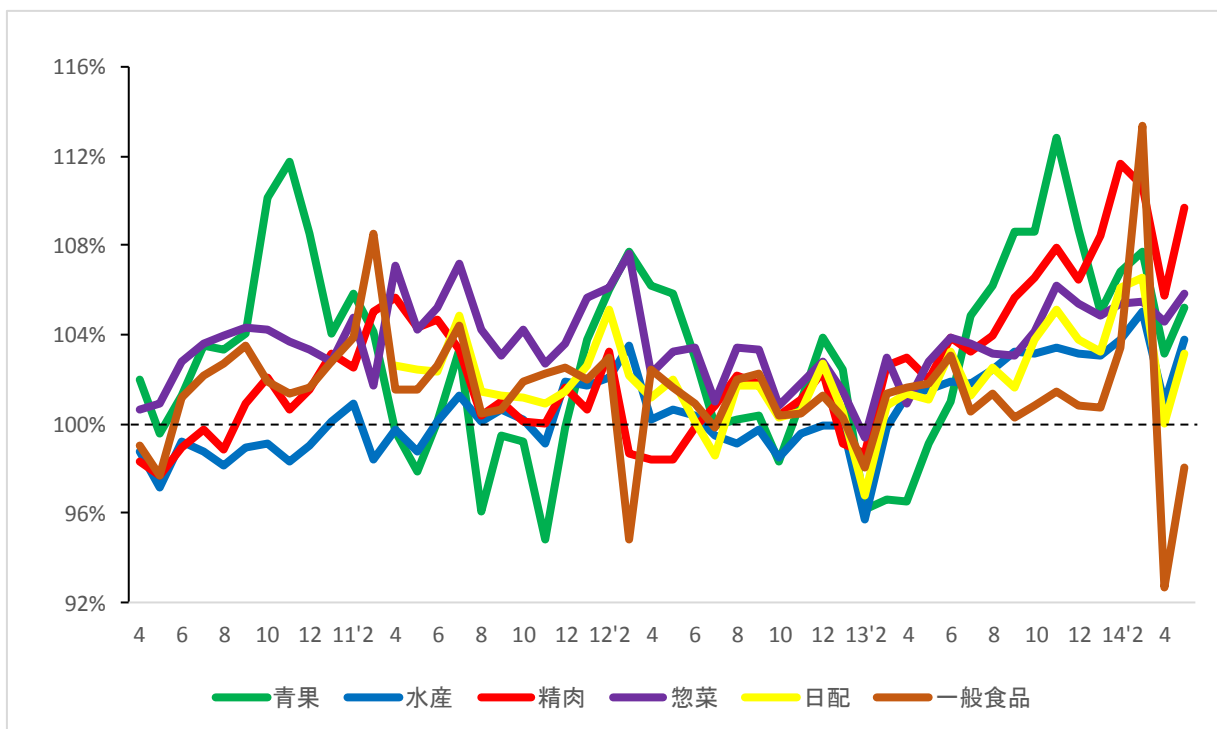


※2010年4月～2014年4月までは確報版による前年同月比、2014年5月は速報版による前年同月比

※2011年3月までは、「非食品」に「その他」を含む

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2014年5月(全店ベース対前年同月比)

青果・水産・畜産・惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2014年4月までは確報版による前年同月比、2014年5月は速報版による前年同月比

※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」を含む

## エリア別 2014年5月気候状況(平均気温・日照時間・降水量)

### ①平均気温

**2014年5月(平年との比較)**

中旬から下旬にかけてやや平年より高い気温となった

**前年同月(2013年5月)と比較**

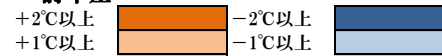
上旬は前年に比べかなり気温の高い地方が多く、下旬はやや低い気温となった

	平年との比較(°C)								
	2014年5月			2013年5月(前年)			今年と前年との差(°C)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	1.3	1.0	0.6	-3.5	-2.4	1.7	4.8	3.4	-1.1
東北地方	0.5	1.6	1.7	-2.8	-0.2	1.5	3.3	1.8	0.2
関東甲信地方	0.0	1.5	1.4	-1.9	1.5	1.9	1.9	0.0	-0.5
北陸地方	-0.4	0.9	1.8	-3.4	1.0	1.9	3.0	-0.1	-0.1
東海地方	-0.3	0.6	0.8	-1.9	1.2	1.7	1.6	-0.6	-0.9
近畿地方	-0.7	0.7	1.0	-3.0	1.2	2.1	2.3	-0.5	-1.1
中国地方	-0.9	1.0	1.8	-2.6	1.4	2.2	1.7	-0.4	-0.4
四国地方	-0.7	0.3	1.0	-1.9	0.8	2.2	1.2	-0.5	-1.2
九州北部	-1.0	0.5	1.6	-1.6	1.4	2.1	0.6	-0.9	-0.5
九州南部・奄美地方	-1.2	-0.1	0.4	-1.3	0.4	1.5	0.1	-0.5	-1.1

**平年差**



**前年差**



### ②日照時間

**2014年5月(平年との比較)**

上旬は全国的に平年に比べ長く、中旬以降もやや長い日照時間となった

**前年同月(2013年5月)と比較**

ほぼ全国的に前年並みの日照時間となった

	日照時間 平年比(%)								
	2014年5月			2013年5月(前年)			今年と前年との差(%)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	92	95	100	64	46	95	28	49	5
東北地方	115	123	103	100	97	118	15	26	-15
関東甲信地方	140	159	117	167	140	106	-27	19	11
北陸地方	122	132	109	121	121	125	1	11	-16
東海地方	152	142	117	173	137	104	-21	5	13
近畿地方	150	131	120	146	143	108	4	-12	12
中国地方	151	116	129	130	133	112	21	-17	17
四国地方	156	107	141	169	139	96	-13	-32	45
九州北部	164	100	146	162	135	97	2	-35	49
九州南部・奄美地方	135	68	136	164	103	79	-29	-35	57

**平年差**



**前年差**



### ③降水量

**2014年5月(平年との比較)**

上旬は全国的に降水量が少なく、中旬以降は北海道と四国以西で多く、下旬は東日本でやや多かった

**前年同月(2013年5月)と比較**

中旬は北海道と西日本で多く、下旬は東日本で多い降水量となった

	降水量 平年比(%)								
	2014年5月			2013年5月(前年)			今年と前年との差(%)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	41	245	59	86	119	59	-45	126	0
東北地方	73	59	128	43	60	45	30	-1	83
関東甲信地方	35	24	180	15	84	36	20	-60	144
北陸地方	33	35	148	28	52	68	5	-17	80
東海地方	20	70	173	13	94	57	7	-24	116
近畿地方	11	68	99	24	48	32	-13	20	67
中国地方	15	80	77	29	29	67	-14	51	10
四国地方	14	168	54	26	34	41	-12	134	13
九州北部	4	168	27	42	21	101	-38	147	-74
九州南部・奄美地方	31	240	58	16	86	49	15	154	9

**平年差**



**前年差**



気象庁ホームページより引用  
平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均  
スーパーマーケット統計事務局作成

# スーパーマーケット景気動向調査

## 2014年6月調査結果(5月実績)

### (6月20日公表)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

#### 【経営動向調査】

1.経営状況:「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」

スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ① 前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査
- ② 前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より調査開始

2.カテゴリー動向:「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」

スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ① 前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で調査 ※2014年4月実績より調査開始
- ② 各カテゴリーの好不調要因についてのコメント ※2014年4月実績より調査開始

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

#### 【景況感調査】

1.景況感:「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ① 2~3か月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査
- ② 今後2~3か月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ  
tokei@super.or.jp

# I. 調査結果概況

## 前月の見通し判断に続き、現状判断も大幅に改善も、今後の方向感が見極めづらい状況

5月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は46.9と前月から+6.6と大幅な改善をみせた。現状判断、見通し判断共に全てのDIが前月比プラスとなっており、特に消費者購買意欲DIは、現状判断45.5（前月比+9.2）、見通し判断45.7（前月比+5.0）と改善幅が大きい。

経営動向調査では売上高DIが0.7（前月比+15.7）とプラス水準となり、同様に収益DIも5.8（前月比+14.4）と大幅に改善した。来客数DIは-7.6（+7.5）とマイナス水準で推移しているが、客単価DIが7.8（前月比+9.8）とプラス水準に戻ったことが好調要因として大きい。仕入原価DIは共に小幅に上昇しているが、販売価格DIも高水準を維持しており、客単価DIを押し上げている。

景況感DIでは、前月見通し判断が大きく反発をみせたが、当月は現状判断が大幅な改善をみせ、同水準までの回復をみせた。一方で判断の分かれ目となる50は依然として下回っており、さらなる回復が待たれる。ただし、両判断が同水準となったことで方向感が見極めづらい局面となっており、今後の基調判断については、次月以降の結果をふまえ慎重に判断していく必要がある。

### 景況感調査



### 経営動向調査

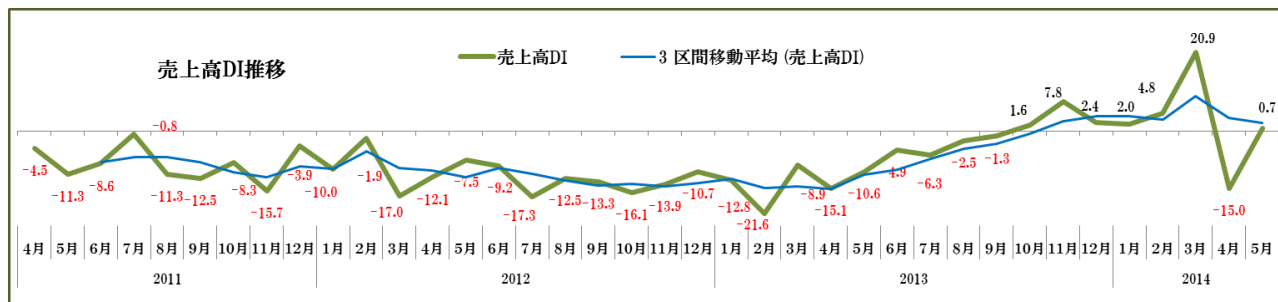
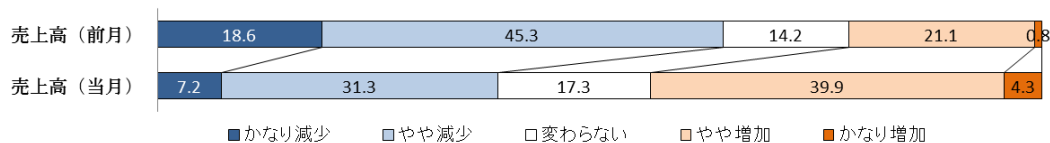


( ) 内は前月DIとの増減（赤字はDI減少）

# I. 調査結果詳細 1. 経営動向調査

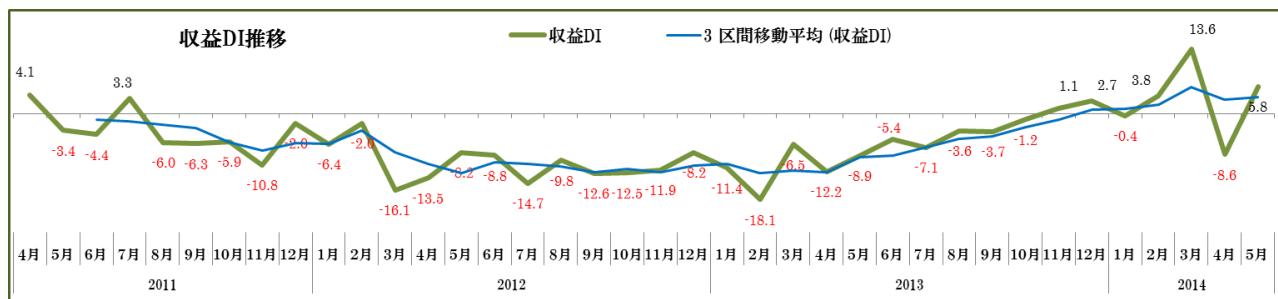
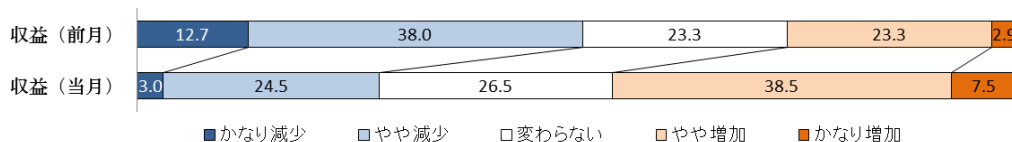
## ①売上高 DI

消費税率引き上げの影響も落ち着きを見せ、プラス圏まで改善



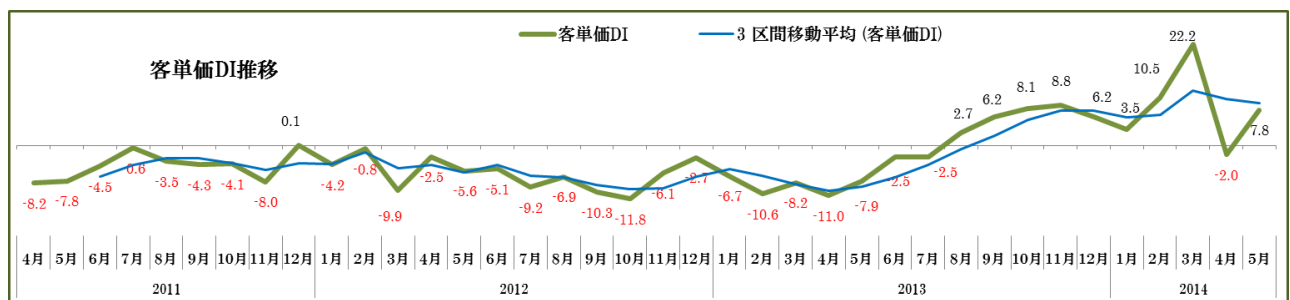
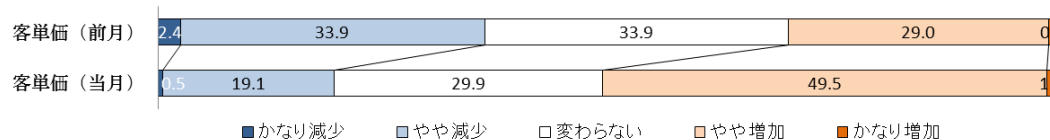
## ②収益 DI

消費税率引き上げの影響も落ち着きを見せ、プラス圏まで改善



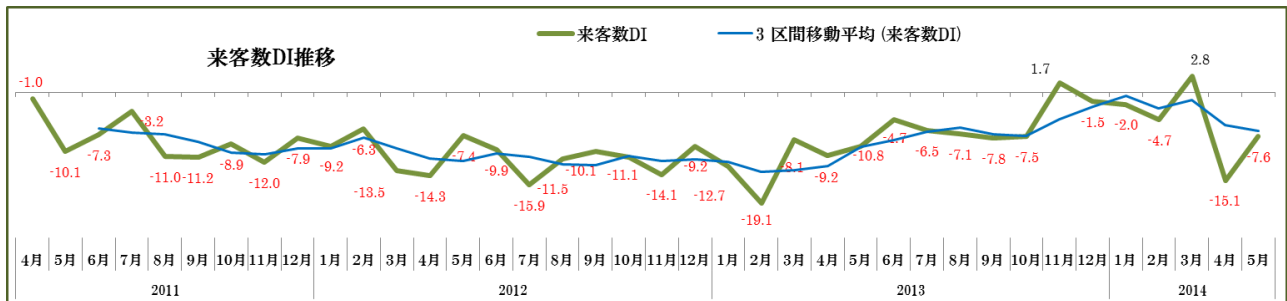
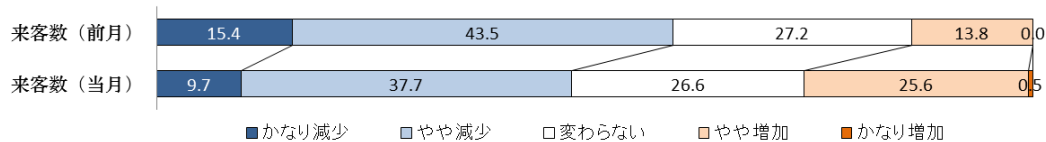
## ③客単価 DI

消費税率引き上げの影響も落ち着きを見せ、プラス圏まで改善



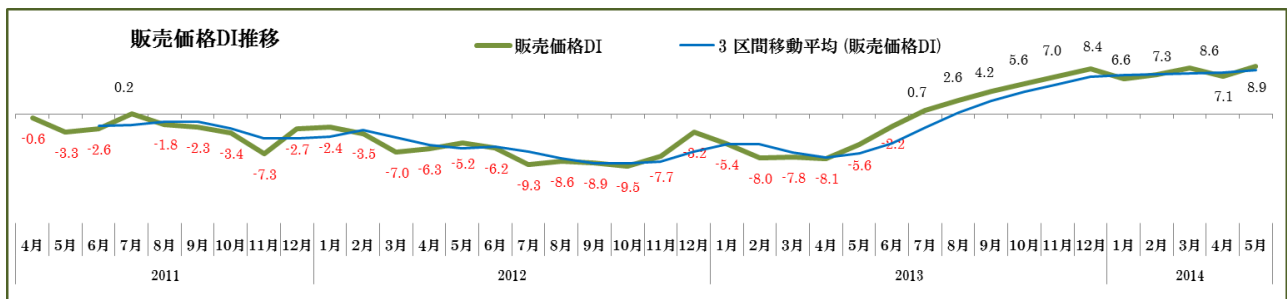
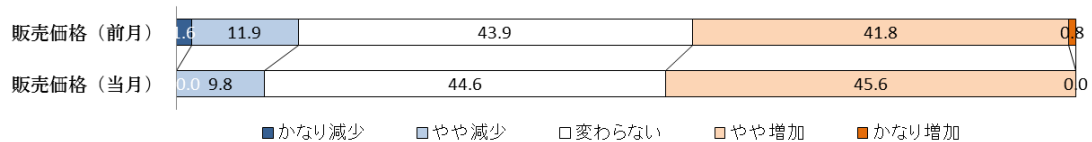
#### ④来客数 DI

当月やや反発も回復の勢いは弱く、方向感の定まらない動き



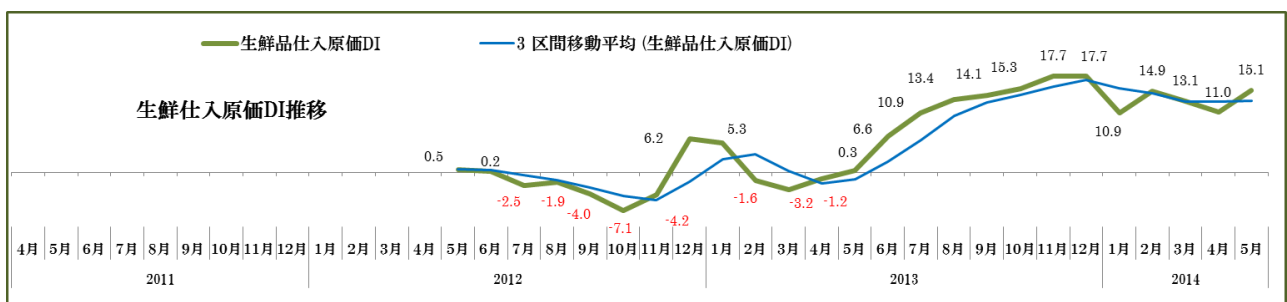
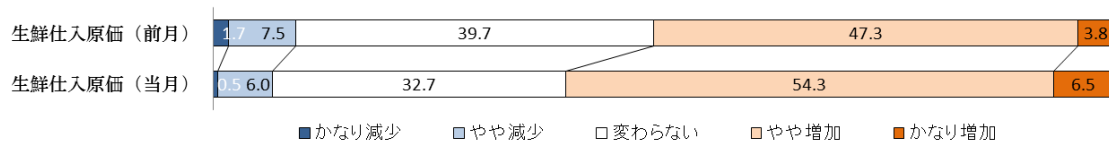
#### ⑤販売価格 DI

引き続きプラス圏を維持しており、高水準で横ばい傾向



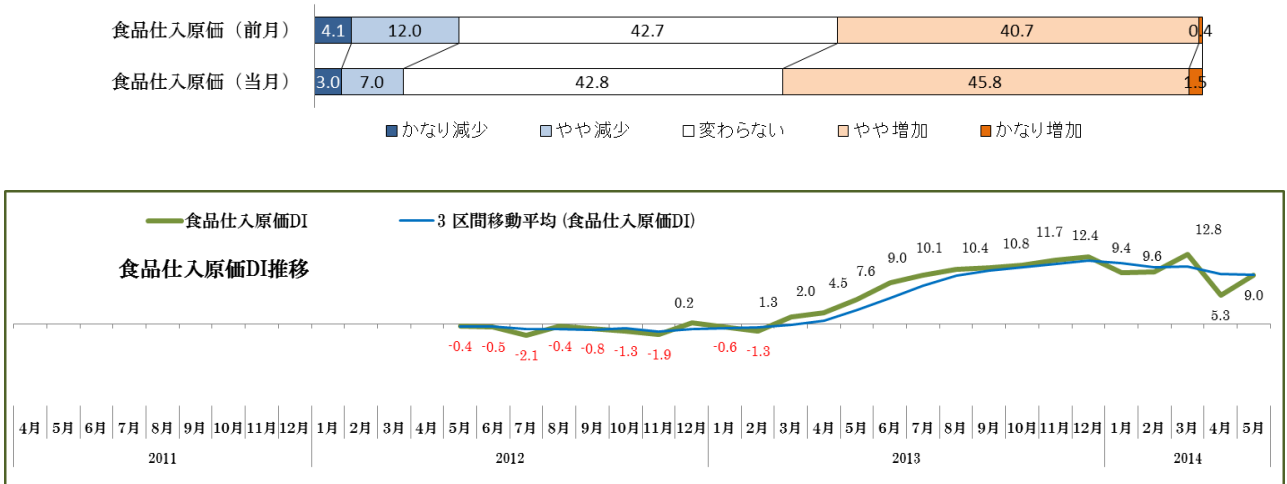
#### ⑥生鮮仕入原価 DI

12月をピークにゆるやかに下降傾向も当月はやや上昇



## ⑦食品仕入原価 DI

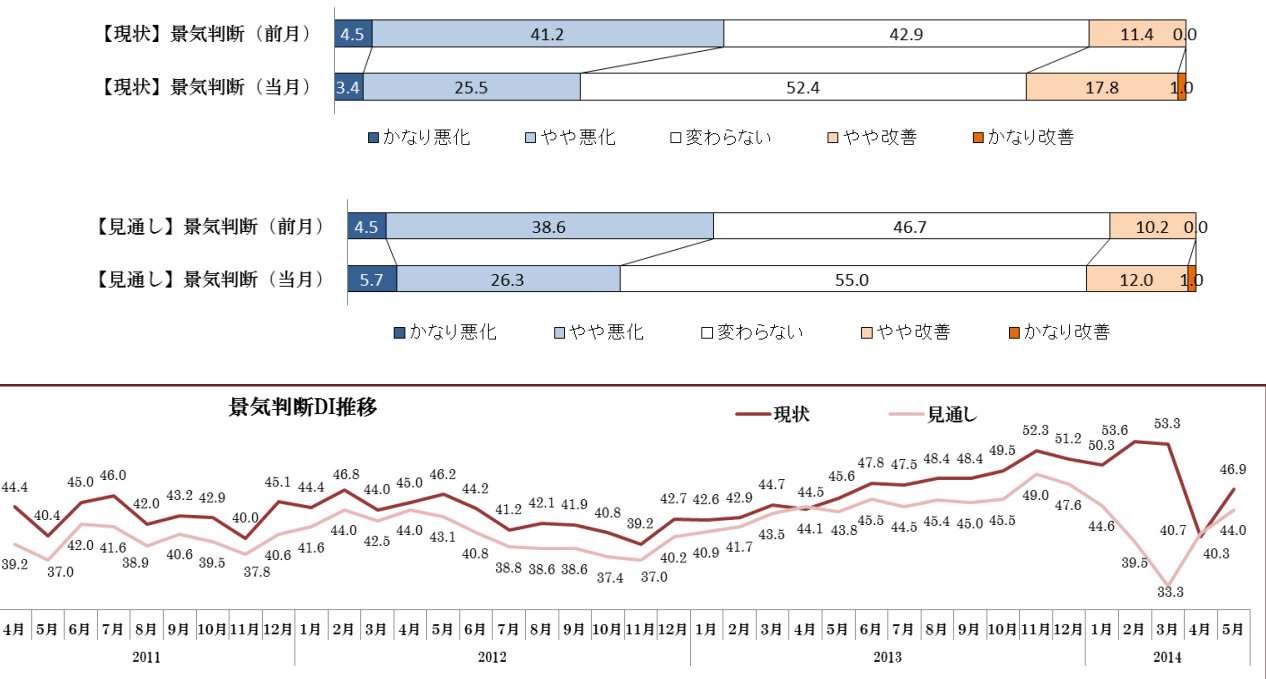
12月をピークにゆるやかに下降傾向も当月はやや上昇



## 2. 景況感調査

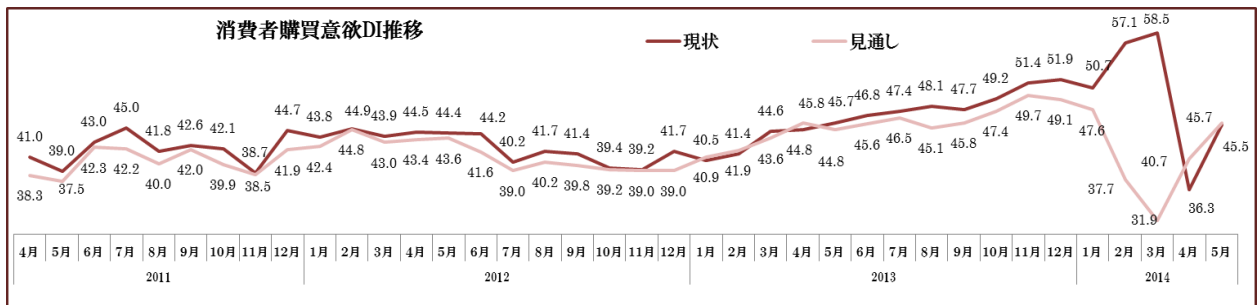
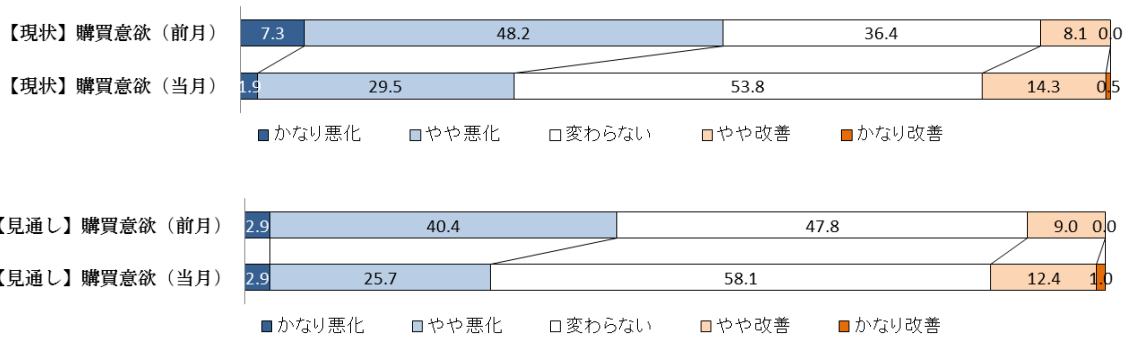
### ①景気判断 DI

現状判断は大きく改善をみせるも、見通し判断は小幅な改善にとどまる



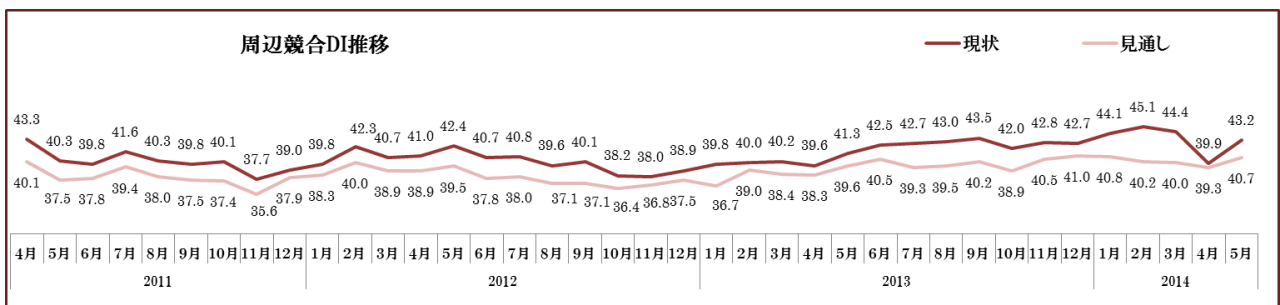
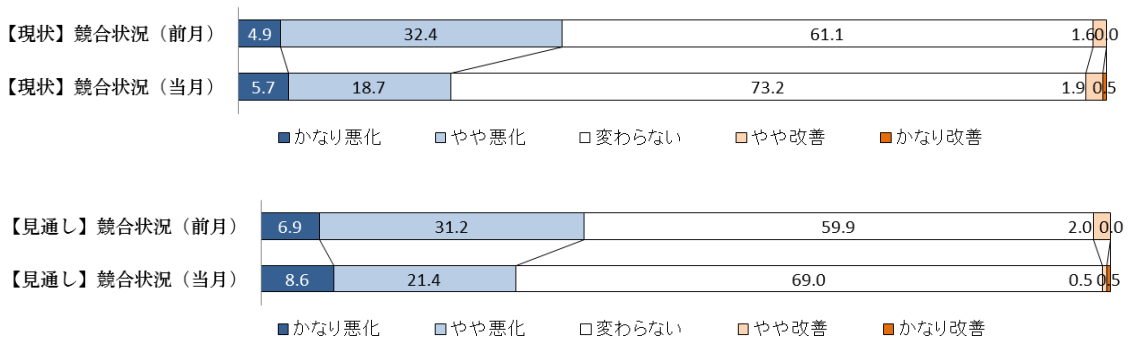
## ②消費者購買意欲 DI

現状判断は大きく改善をみせ、現状判断、見通し判断が同水準にまで改善



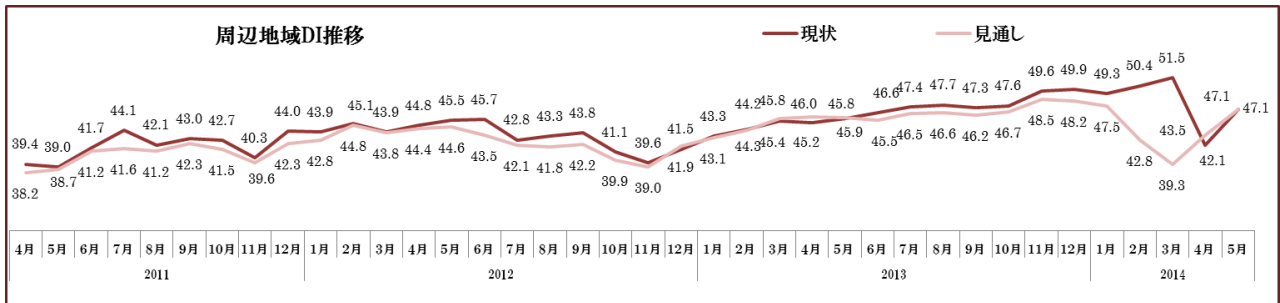
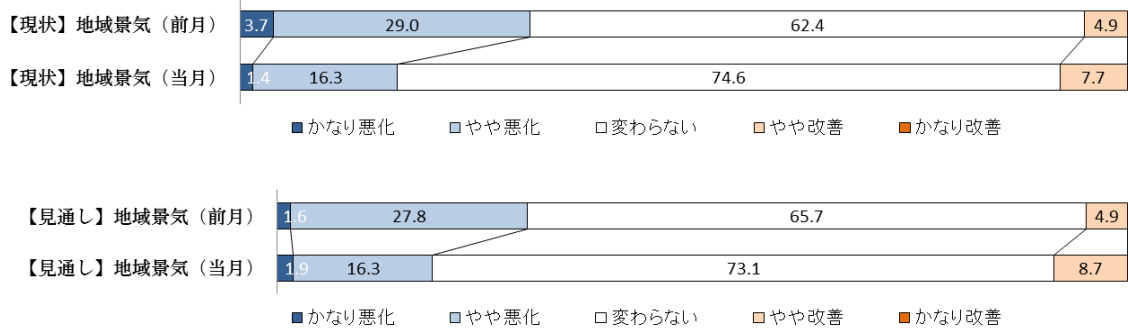
## ③周辺競合状況 DI

引き続き横ばい傾向が続き、改善の動きは見られず



#### ④周辺地域景気判断 DI

現状判断は大きく改善をみせ、現状判断、見通し判断が同水準にまで改善

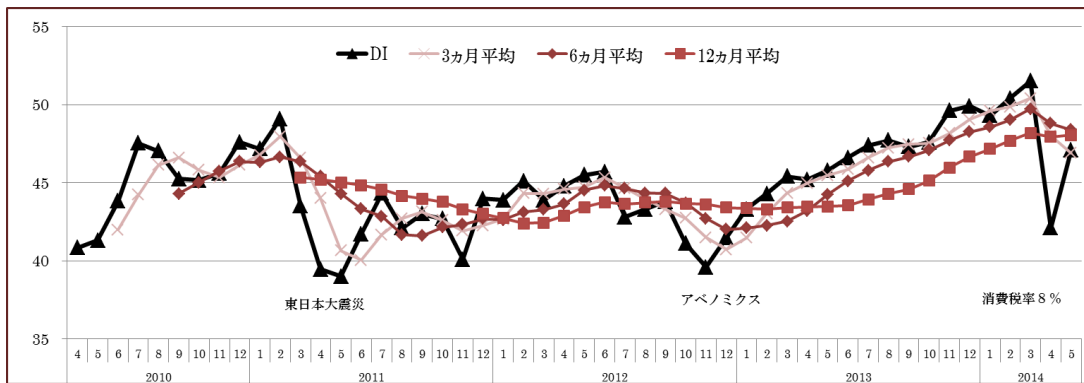


#### 長期傾向（周辺地域景気判断 DI）

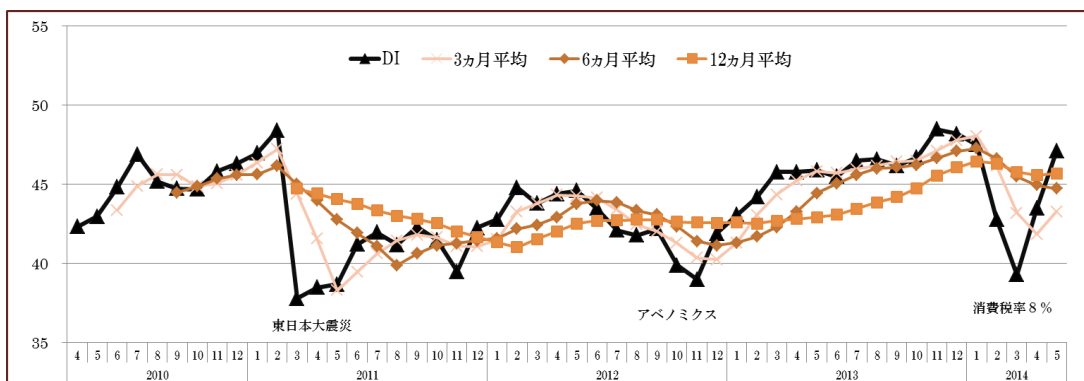
前月、消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した現状判断は、当月は大きく改善し、中長期移動線付近まで回復をみせている。前月すでに改善していた見通し判断は、再び中長期線を上回る水準まで回復した。

長期傾向（12 か月平均）は完全に横ばいの推移となっており、現時点では方向性はみられない。中短期傾向は下向き化しており、今後さらなる回復基調となるかについては、しばらく動向を見極める必要がある。

#### 現状判断（中長期傾向）



#### 見通し判断（中長期傾向）



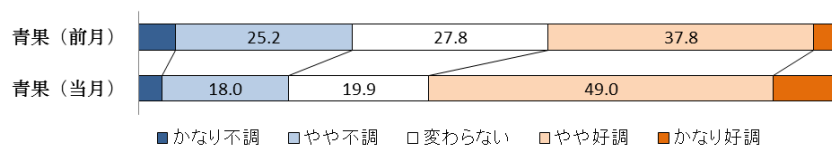
### III. カテゴリー別動向

#### カテゴリー動向概要

前月に引き続き生鮮品は今月も好調となった。また、駆け込み需要の反動で前月不調であったカテゴリーでもやや改善をみせた

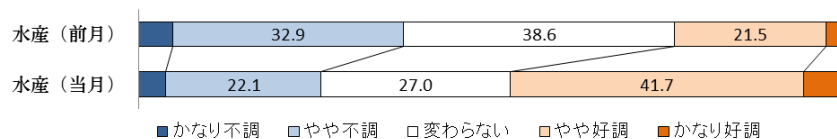
畜産は相場高に支えられ引き続き好調であり、豚肉をはじめ、牛肉、鶏肉など精肉が好調であった。青果と水産も相場高の影響を受け好調となっている。惣菜はGWでの販売が好調であったことや取組み成果により好調であった。日配は5月上旬全国的に気温が上昇したことで涼味関連が比較的好調だった。一般食品は、一部商品では駆け込みからの回復もみられるが、引き続き米や調味料が低迷した。非食品はたばこを中心として駆け込みの反動が残り、また他業態との競合も厳しくかなり不調となった

#### 【青果】好調 DI:10.9 (前月比+8.4)



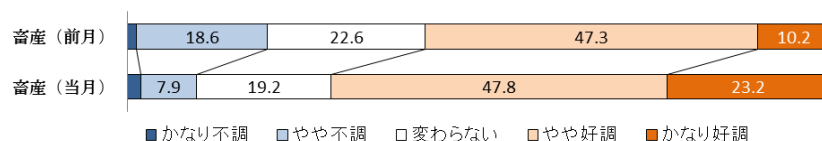
	好調コメント	不調コメント
青果	相場高、野菜(サラダ、カット野菜)、果物、販促	果物

#### 【水産】やや好調 DI:5.6 (前月比+9.8)



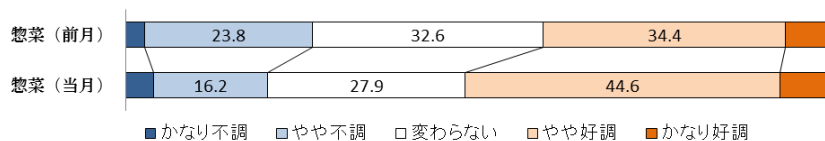
	好調コメント	不調コメント
水産	相場高、刺身(まぐろ)、塩干、販促	不漁(仕入高、品不足)、(かつお)

#### 【畜産】かなり好調 DI:20.6 (前月比+9.0)



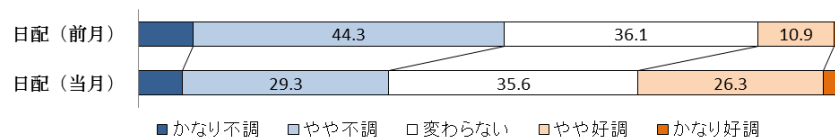
	好調コメント	不調コメント
畜産	豚肉相場高、牛肉、(鶏肉)、販促	競合の影響

#### 【惣菜】好調 DI:8.8 (前月比+4.2)



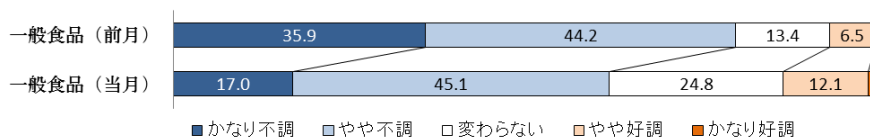
	好調コメント	不調コメント
惣菜	内食需要増、寿司、揚げ物、販促	他業態を含む競合の影響

【日配】 **やや不調** DI:-2.7 (前月比+9.2)



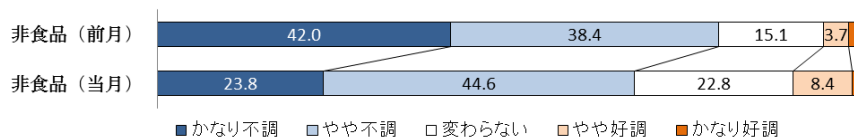
	好調コメント	不調コメント
日配	気温高による涼味関連、(冷凍食品)	乳製品、納豆、パン類、競合の影響、

【一般食品】 **不調** DI:-16.3 (前月比+11.1)



	好調コメント	不調コメント
一般食品	駆け込みの反動和らぐ	駆け込み需要の反動、米、調味料、飲料、競合

【非食品】 **かなり不調** DI:-20.7 (前月比+8.6)



	好調コメント	不調コメント
非食品		駆け込み需要の反動、競合の影響、たばこ

( ) は少数コメント

DI による好不調判断  
 かなり好調：20 以上 好調：10～20 やや好調：0～10  
 かなり不調：-20 以下 不調：-20～-10 やや不調：-10～0

**2014年5月キーワードTOP3**

1. 生鮮品相場高
2. 気温上昇
3. 駆け込み需要の反動

スーパーマーケット景気動向調査  
 5月速報版集計 210社  
 4月確報版集計 247社